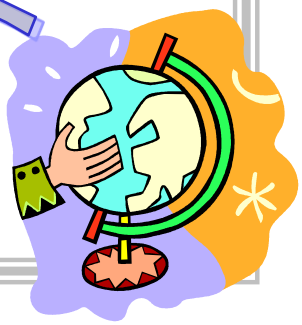
明石市

国際協力海外レポート

藤井　信伍（ふじい　しんご）【JICA 青年海外協力隊】

赴 任 地：モンゴル国ウランバートル市バガノール区
職　　種：理学療法士
赴任期間：2023 年 7 月 26 日～2025 年 7 月 25 日（予定）



明石市にお住まいの皆さん сайн байна уу（モンゴル語でこんにちは）
モンゴルへ派遣され 5 か月が経ちました。前回はモンゴル国についてお伝えしたので、今回は実際にどのような活動を行っているかお伝えさせていただきます。

派遣先の様子

私は首都から約 130km 離れた人口 3 万人ほどの町の病院で活動をしています。活動内容は外来、入院患者さんへの理学療法、同僚や病院スタッフへの助言と指導となっています。同僚は理学療法士が 2 人おり 1 日に 10 人ほどに理学療法を行います。
モンゴルにおける理学療法の歴史はまだ 10 年ほどと浅いために、人員やセラピストの経験、勉強をするための資料、器具が不足している状況です。そのためまだまだ拙いモンゴル語で何とか日本の理学療法の情報や技術を伝え、器具が不十分な中で工夫をしてどのようにリハビリを進めるかを日々模索しております。



派遣先の町(11 月の写真ですが、気温―20 度で雪が積もっています)

毎日のスケジュール(勤務は月曜日～金曜日 8:00~16:00)

8:00 業務開始
〃　外来患者への理学療法
12:00 午前の業務終了
〃　昼休み
13:00 午後の業務開始
〃　入院患者への理学療法
16:00 業務終了
その後、毎週木曜日は医者や看護師も含めたミーティング
2 回/月にリハビリ科内で勉強会

モンゴルのリハビリ事情


リハビリ室

外来や入院する原因となる病気は日本とほぼ変わりなく、骨折や脳卒中の方が多いです。異なっている点はリハビリの期間です。モンゴルのリハビリ制度は日本の制度と大きく異なっており、日本だと半年間出来るリハビリがモンゴルでは制度として数回で終了になってしまいます。入院期間も 2 週間と決められているため、患者さんと関わる時間がとても短いです。その短い期間で患者さんやその家族の今後の生活も考え、良くなってもらう事を目指す必要があります。

日本で働いていた際は訪問して患者さん宅で理学療法を提供する訪問リハビリや生活習慣病を持つ患者さんへの生活習慣の指導を行っていたので、モンゴルでもそのような活動を紹介、実施してモンゴルの医療発展、モンゴルの人々の健康増進の手助けになりたいと考えています。